

令和8年度用

改訂新版

社会の新研究

大分県 高校入試情報

令和7年度大分県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問は、地1・歴1・公1・地歴1・地歴公1の計5問

○小問数は39問（昨年40問）

○文章記述問題は8問（昨年5問）

●出題傾向について

○文章記述問題は、指定語句使用、字数指定、穴埋め式など様々な形式で出題された。

○各分野とも資料を用いた問題が多い。

○地歴公の総合問題では「水資源」の探究学習を設定テーマとして幅広い資料を用いた出題が見られた。

★大分県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■活用問題の出題

・例年、資料から考察し指定語句や穴埋め形式で記述させる問題が出題されているため、資料の読み取り対策と設問の要求に沿って、解答をまとめる記述対策の両方が必要。

→

新研究で対策！

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」（p. 194～197）では、複数の資料を読み取る問題や、自分の意見を記述する問題など、最新入試問題からピックアップした、今後も出題されそうな新しいパターンの問題を掲載しています。入試対策の仕上げとして取り組むことができます。

■分野統合問題の出題

・例年、大問は分野統合問題が出題されている。複数の資料を読み取りながら解答をする出題形式の統合問題に慣れておくことが必要。

→

新研究で対策！

●「これで完成！入試実戦講座」⑪⑫（p. 200～203）で、分野統合問題の出題形式として多い、1つのテーマに沿った総合問題に取り組むことができます。

★新研究で出題した大分県の入試問題(令和7年度)

◆p.43 大問2 ◆p.50 大問2 ◆p.129 大問1 ◆p.161 大問2 ◆p.178 大問1

◆p.185 大問2 ◆p.196 大問1

大分県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★大分県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●		●	●
		日本の姿				
		世界各地の人々の生活と環境	●		●	●
		アジア州	●	●	●	●
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●	●	●	●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●	●	●	
		地域調査の手法		●		
		日本の自然, 人口		●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方		●		●
		近畿地方, 中部地方	●	●	●	●
		関東地方, 東北地方, 北海道地方	●	●		●
		歴史的分野	文明のおこりと日本	●	●	●
	古代国家の歩み		●	●	●	●
	中世社会の展開		●	●	●	●
	ヨーロッパ人との出会いと全国統一			●	●	●
	近世社会の発展		●	●	●	●
	近代ヨーロッパと日本の開国		●	●	●	●
	近代日本の歩み		●	●	●	●
	二度の世界大戦と日本		●	●	●	●
	現代の日本と世界		●	●	●	●
	公民的分野		現代社会と私たちの生活	●		
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●	
		現代の民主政治, 国会	●	●	●	●
		内閣・裁判所, 三権分立	●		●	●
		地方自治		●		
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●	●
		財政, 国民生活と福祉	●	●	●	●
地球社会と私たち		●	●	●	●	
分野統合		●	●	●	●	
出題形式別の傾向	大問数	5	5	5	5	
	小問数	39	39	40	39	
	記号解答	23	23	26	23	
	用語記述	10	9	9	8	
	文章記述	6	7	5	8	
	作業・作図					